

所属・資格 国文学科・准教授

申請者氏名 門脇 大

研究課題		近世文芸と通俗思想および在地伝承・信仰に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>本研究の目的は、近世文芸と通俗思想との関係性を具体的に明らかにするとともに、それらと緊密に関わる在地伝承・信仰との関わりを総合的に解明することにある。</p> <p>具体的には、近世初期の仮名草子と後続の石門心学関係資料、さらには山東京伝の戯作などに繰り返し認められる通俗思想の解明である。それらは近世期の通俗教訓の要素を多分に含みながらも、文芸的な要素をも備えている。これらを具体的に検証することによって、近世文芸と通俗思想との関係の一端を明らかにすることが目的である。</p> <p>また、これらの中には特定の地域に根ざした伝承や信仰との関わりも認められる。このような在地伝承との関わりも視野に入れた研究を行った。</p>
	研究の 結果	<p>研究目的に沿った研究を行い、その成果の一部を発表することができた。石門心学と山東京伝作品との関わりを明らかにする研究、および在地伝承や信仰と近世文芸との関わりを考究する研究である（研究発表・研究成果物を参照）。</p> <p>また、研究を遂行するうえでの基礎資料の収集・整理を行うことによって、次年度以降の研究の準備を整えることができた。</p> <p>そして、関連する学会や研究会に参加することによって、本研究に関する有益な知見を得ることができた。</p>
	研究の 考察・ 反省	<p>研究テーマは、これまでに自身が行ってきた研究を継続・発展させたものであり、実現可能性が十分に見込まれるものであった。次年度以降に刊行が予定されている研究成果もあり、順次公開する予定である。</p> <p>なお、着任初年度という事情もあり、予定していたフィールドワークを十分に行うことができなかったことが反省点である。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>研究発表 日本大学×清華大学 日本研究フォーラム 2024、「離れない手——執心の江戸怪談」、2024年11月2日/日本大学文理学部</p>	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>研究成果物 「石門心学の「心」と教訓の表象——京伝の黄表紙との比較から」、『日本文学』、73巻7号、2024年7月10日、日本文学協会</p>	